

# 「愛の家」ニュース

「ご挨拶」



牧師 金鍾権 (在日大韓基督教会·平野教会 関西地方会副会長)

「おにぎり食べたい」

2007年7月10日、北九州市小倉北区の独り暮らしの元タクシー運転手の男性(52才)が自宅で孤独死した事件が日本中を騒がせたことを覚えます。

これは、一見普通の孤独死のように見なされて終わってしまったかもしれませんが、彼が死ぬ直前に残した "おにぎり食べたい!"と書いてある日記が見つかり、日本社会の陰に隠され、よく見えなかった弱者たちの 現実が露にされたかのようで、大きな衝撃を与えたと思います。

それを聞いた時、ふと思い浮かんだのが浪速教会金鍾 賢牧師が長年続けている愛の家の働きでありました。 路上生活者の多い大阪西成地域で30年近くおにぎり とみそ汁の炊き出しを続けてきたことは誰もが真似 できない尊いご奉仕であります。

聖書ルカによる福音書14章12節-14節を見ますと、「また、イエスは招いてくれた人にも言われた。昼食や夕食の会を催すときには、友人も、兄弟も、親類も、近所の金持ちも呼んではならない。その人たちも、あなたを招いてお返しをするかも知れないからである。宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる。」とイエス様は、食事会を開く時の大原則を提示しています。

その御言葉通りにキリストの愛を実践している浪速 教会の尊いお働きに感動しました。

イエス様が五つのパンと二匹の魚で5千名を食べさ せた奇跡の根底にもみられる主の御心、

マルコによる福音書 6 章 34 節で、「大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、」とある通りに憐れみの視線が留まった所が、イエス様が見つめている所と同じ所であるのでは、と思いました。だからなのか、浪速教会のお働きには五つのパンと二匹の魚の奇跡が今も続いているのでは、と思います。尊い働きが天国で大いに報われることを信じて、心に入れて続けて祈りたいと思います。

「ご挨拶」



長老 崔美恵子 (在日大韓基督教会・武庫川教会 全国教会女性連合会副会長)

「愛いっぱいの家」

主の聖名を賛美いたします。

私は、はじめて浪速教会を訪れた時の衝撃を今でも 忘れることができません。礼拝堂に入ると、まるで天 国にいるようなやすらぎと安心できる雰囲気が漂っ ていたからです。訪れる者を誰でもそのまま受け入れ てくれるような大きな愛を感じました。

コロナ禍以前は、12 月のクリスマス前になると武庫川教会の聖歌隊と共に浪速教会を訪問する機会が何度か与えられました。「愛の家」の皆さまが、いつも私たちを温かく迎え入れてくださいました。礼拝の時間では、ノリノリのリズムを刻むドラマーのおじさんの演奏に合わせて、皆さまと楽しく一緒に讃美し、金鐘賢牧師先生の優しくわかりやすいメッセージを聞きました。その後にいただく愛情たっぷりの美味しいお食事が毎回とても楽しみでした。浪速教会「愛の家」を訪問すると、必ず私たちの心とお腹がいっぱいになり、皆さまからたくさんの愛をおみやげにいただいたような気持ちになりました。本当の愛を実践されている金鐘賢牧師先生ご夫妻の献身的なお姿を拝見するたびに、足らない自分を反省するばかりです。

いま世界では、大きな権力を持った人たちの都合の よい理由で戦争が拡大し、嘆き悲しんでいる人が大勢 増え続けています。食べ物に飢え、教育が受けられな い子どもたちが増え続けています。「愛の家」の皆さ まのようにお互いを思いやる愛と平和が世界中に広 がることを心から願っております。

# 「愛の家」の風景



# www.ainoie.org

# 木曜伝道集会

コロナパンデミックが収まったので今年の7月からは教会内での伝道集会が再開されました。 4年振りなので少し緊張感をもって、スタッフたちが集まって役割分担をしました。整理券配り、交通案内、座席案内、料理、食器回収、食器洗い、礼拝堂の掃除、配食、パソコン音声、賛美の導きなどの色々な役割があり、たくさんの人手が必要です。12人ぐらいのスタッフが力を合わせて頑張っています。伝道集会の参加者は午前10時から礼拝堂に入り、10時30分から11時まで共に賛美を捧げます。11時から12時までは礼拝の時間です。神様の御言葉を聞けるチャンスでもあります。毎週、色々な教会から来られる牧師先生たちの口を通して力強く福音が宣べ伝えられています。正午に礼拝が終わると、訪問者たちがずの口を通して力強く福音が宣べ伝えられています。正午に礼拝が終わると、訪問者たちがずたちに待っていた食事の時間です。温かいご飯とスープ、それに栄養バランスの良いおかずが色々ある屋の定食です。スタッフ全員がイエス様に捧げる食事だと思い、心を込めておもりなしをします。 12月になり、外は寒いけれど教会内はイエス様の愛で温かいぬくもりが治れます。これは皆、愛の家の働きのために心から支援してくださる支援者の皆様のお祈りとご支援に励まされてできることです。ありがとうございます。







金曜・おにぎりとお味噌汁(カップ麺)配り

24年間、変わらずに続けられているのが金曜炊き出しです。雨が降っても槍が降っても年中無休です。冬になると西成公園には時々北風が吹いて来てとても寒いです。その時こそあたたかい爆弾おにぎりとおみそ汁が大人気です。ほとんどの方がおかわりをします。毎週金曜日のこのおにぎりとおみそ汁を通して心も体も温まるそうです。

おにぎりご飯を炊く人、そのご飯にごま塩を入れて味をつける人、それを持っておにぎりを作るスタッフたち、また栄養たっぷりのおみそ汁を作る人など金曜日の食堂はにぎやかです。準備できたおにぎり、おみそ汁、おまけにフードバンクからいただいたおみやげ(パン、バナナ、アルファ米など)をトラックにいっぱい積んで西成公園に行きます。朝早くから来られて待っている方々に午前10時15分ぐらいから11時までおにぎりとおみそ汁を配ります。寒さでふるえてた方々がほっとした笑顔で「ごちそうさまでした」と声をかけて下さると私達スタッフも喜びに満ちあふれます。いつも支援してくださる皆様、ありがとうございます。



宣教チームの訪問





今年になって4年振りに宣教チームの訪問がありました。6月30日~7月5日までは李玉姫牧師(インドで宣教)、7月10日~14日までは韓国大邱キップン忠誠教会の信徒10人、7月28日~29日は韓国のホ・ドンギュン兄弟と甥っ子、10月18日~22日は韓国韓神大学院牧会研修生7人が来られました。それぞれのチームが浪速教会の全ての礼拝に参加し、全ての炊き出しの奉仕も手伝ってくださいました。高齢者の多い浪速教会に若者が入り、活気あふれる教会になりました。主よ、浪速教会にも次世代の働き人をどんどん増やしてください。

# 奉仕者の声

# 『83歳の奉仕者』

村上 博人 聖徒 (在日大韓基督教会 浪速教会)



も自分をみれば震え上がる。「誰でも正面からかかって来い!いつでも相手になってやるからな!」っちゅうなもんで、誰もかかってきませんでした(笑)

田舎では仕事がなかったものですから、 18歳の時に陸上自衛隊に入隊し北海道に 2年間いました。そしてまた田舎に戻り結 婚をし、3人の娘をもうけました。そして

タクシードライバーをしました。しかし、 私自身方向音痴でしたので、いつもお客さ んに道を教えてもらいながら運転をしてい ました。10年前くらいから認知症が始ま り仕事ができなくなり、また田舎を飛び出 してきてしまいました。そこで住んでいた マンションの 1 階で喫茶店をしていた伊藤 房子さんという女性と出会いました。伊藤 さんは故・中村泰典さんという昔の同僚を 通して浪速教会「愛の家」とその働きをご 存知でしたので、私を浪速教会へと導いて くれました。そして今はここ浪速教会で安 心して全てを任せながら日々の生活をして います。時折、何か手伝うことがあれば手 伝っています。掃除、食器拭き、荷物運び . . . .

私はコーヒーが大好きで朝から夕方まで何回も自宅と教会を行き来しては缶コーろん飲んだことを忘れてるから飲み続けるわけですけれど(笑)他の事は全部忘れても、浪速教会と金牧師の名前だけは頭にちゃんは残っています。毎日何回でも「今日は礼拝あると?」「集まり(炊き出し)あると?」と聞いてしまうけれど、毎日行き来でもあると?」を出いてもできる事は感謝です。

何よりも今ある「すべてに感謝です」。



### 

#### (浪速教会 信徒)

神様が私達浪速教会「愛の家」の路上生活者や貧しい人々への働きを喜び祝福して下さると私は感じています。 その印の一つが忠実で良い主の僕である大木正典兄弟を神様が、私達の教会に送って下さった事であります。 私が大木兄弟と初めて出会ったのは2007年3月日本標

神様が、私達の教会に送って下さった事であります。 私が大木兄弟と初めて出会ったのは2007年3月日本橋の路上でした。浪速教会の炊き出しに並んでいる兄弟に声をかけました。彼らを助けて路上生活から屋根のある部屋で生活をしてもらうためでした。当時、大木兄弟は自分の人生の中で初めてホームレスになり一番困った時でした。「生活保護を申請して生活保護を受給して屋根のある部屋での生活をしませんか?」と勧めたところ素直に応えて下さり私も本人も喜び安心しました。

私が助けた事は野宿から自分の部屋で生活が出来る様に教会に導いた事だけでしたが、今までの16年間、私は大木兄弟に言葉で言い表せない程助けられました。

彼は元々一級建築士で図面を描く事ができ、不動産会社で努めて来ました。彼は、私達の教会に入ってから自分の賜物と能力を活かして一番苦しい時を通っていた私達の教会を助けてくれました。2007年3月は新しい教会堂の土地建物を買いリフォーム工事をするため銀行の融資を申請した時でした。銀行から教会堂の建築のための図面を求められた時、大木兄弟は期限内に図面を描くために徹夜して完成してくれました。そのお陰で融資がおりて建築が出来る様になりました。教会堂建築の時は計画が変わり図面を何回も描き直してくれました。建築工事の時は現場で汗水流し共に働きご苦労を分かち合いました。

大木兄弟は60歳に、私達の教会に入り今まで無報酬で 常勤事務員として教会の事務を担っております。日曜日の 礼拝週報作成、週3~4回ある集会や礼拝の賛美礼拝の PPT の作成、パソコン、音響操作、教会の会計を担当し て来ました。

教会や福祉住宅のリフォーム工事を私達の教会は自力で行いました。大木兄弟は私と一緒に工事を数多く行いました。今現在、大木兄弟は76歳です。16年間あまりにも忙しく心身共に苦労して来られたので休ませてあげたいですが、今も毎日教会の働きを休まず続けております。



### 「愛の家」会計中間報告書(2023.1.1-10.31)

収入	23 予算	2023.1-10
定期後援会	600,000	739,000
一般後援会	1,900,000	1,524,628
クリスマス献金	1,500,000	330,241
食事献金	0	15,000
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	350,000
御米献金	100,000	36,000
小計	4,720,000	3,194,869
繰越金	2,132,929	2,132,929
合計	6,852,929	5,327,798

支出	23 予算	2023.1-10
事務·備品·印刷費	250,000	135,672
発送費	100,000	43,240
交通費	10,000	11,680
車両維持費	100,000	175,435
奉仕者支援金	200,000	44,000
研修費	100,000	0
御米代	500,000	296,000
副食費	1,800,000	1,225,087
建築積立金	1000,000	2,500,000
救済費	50,000	18,700
修理施設費•予備費	2,742,929	33,466
小計	6,852,929	4,483,280
繰越金	_	844,518
合計	6,852,929	5,327,798

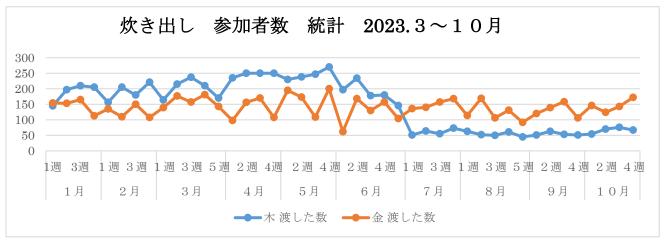
# 浪速教会教会 • 信徒修養会

今年は4年振りに信徒修養会が開催され、15人が参加しました。都会地の大阪から兵庫県丹波市の氷上カルバリ祈祷院に行く車の中でみどり豊かな山々を見ると心が平和でいっぱいになりました。9月18日~20日まで2泊3日の修養会では声高らかに主を賛美し、聖書の御言葉を学び、心を一つにして祈り、おいしい食事をしながら良き交わりをしました。

近くの温泉で体も休める事ができ、皆で力を合わせてバーベキューも楽しみ、唯一の赤ちゃんである一希君 (2才) は生まれて初めての花火で怖がりつつも少しずつ慣れて楽しんでいる様子でした。







### 献金者お名前(敬称略・順不同)

(2023年3月1日~2023年10月31日)

#### 定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル・洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会関西地方会、大阪北部教会女性会、ジム&ダーラ・スナイプ、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、朴栄子、匿名

# 一般後援金

豊橋教会、救霊会館、大邱キップン忠誠教会、ハンビッ教会(オーストラリア)、グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、西新井教会、重松貿易(株)ギースブレクト・コーリ、重松絢子、野津道代、久保安子、ユ・サンジュン、木村敏子、梨原ひろ子、ホ・ドンギュン、金容昭、朴栄子、、匿名

◆ お米、お米献金 洲本チャペル、サザンカ、梁漢順、河内常男、井上久夫、松尾保司匿名

**● 食材** 

フードバンク大阪、フードバンク関西, ぐるり農園、丹波 カルバリ祈祷院、国際飢餓対策機構、崔愛蘭、清水眞 一・佐代子、伊藤まさみ、西成郵便局の職員さん、

◆ アルミ缶献金
「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町の皆さん

◆ <u>衣類、靴、鞄、生活用品、ふとん類、マスク</u>
グッド・サマリタン・チャーチ、女子ご受難会、ゼログラヴィティ―、松井明美





国際飢餓対策機構の職員と

# 「愛の家」の人々

大阪「西成」といえば近寄りがく物騒だと いう先入観を持たれている方もいらっしゃ るかもしれません。しかし、その西成にも子 どもたちも暮らしているし、一生懸命勉強し て、高校大学へ進学し、企業に勤めていま す。神様の召しを受けて牧師になられた方 もいらっしゃいます。みんな一生懸命に生 きていらっしゃる姿を教会の周辺で毎日拝 見しています。また街の方々も教会「愛の 家」の働きを手伝ってアルミ缶や段ボール の提供をしてくださる方々もいらっしゃいま す。その繋がりを作ってくれるのは浪速教 会「愛の家」のおしゃべり好きなおじさんた ちです。今はもう天国に召された嶺さん、宮 崎さん、宮田さん、元浦さん。現役では宜 志富さんです。宜志富さんは沖縄出身で水 の代わりにお酒をずっと飲み続けていま す。そこで通うのが酒屋です。酒屋さんの 段ボールをいつももらってきてくれます。ま た近所の中国系の方々の段ボールや不要 になった電化製品を引き受けては処分して あげます。飲み癖は直してほしい所ですが (笑)、人の好さはとても感心するほどで す。洗礼を受ける時に嗚咽するほどに流し たその涙の後ろには悲しみ寂しさがあるの だろうと思います。神様の愛と平安が「愛 の家」の人々に行き届きますように。

## ♪世の友われを捨てるとも~ 我を愛すはただ主イエス♪

発行責任者 金鐘賢 〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3 浪速教会「<mark>愛の家</mark>」内 TEL 06-6561-4712(教会) E-mail: ainoie@msn.com

ホームページ: www.ainoie.org 郵便振替口座:在日大韓基督教会浪速教会

00930-0-299392